

夏目漱石を活かした

漱石ロード活性化会議

かなだ

西大寺金田地区のまちおこし

夏目漱石が岡山を訪れたのは、学生時代の1892年7月から8月の約1ヶ月間。亡くなった兄の元妻、小勝の再婚祝いのために金田地区の岸本家を訪れたという。文豪の足跡を残し、まちおこしにつなげるため、地域住民や地元企業、公民館、高校など多様な組織、人々の協働でさまざまな活動に取り組んでいる。

漱石ロード



漱石が岡山滞在時に行き来した金田地区の道を「漱石ロード」と名付け、「漱石ロード広場」には、岡山市の「歴史散歩」の記念碑や漱石が盟友正岡子規に送ったとされる句碑も建てられている。



漱石フォーラム



漱石について学習、コンサート、習字での揮毫など、文化的な内容で夏目漱石を顕彰する地域ぐるみのがかりなイベントである。

漱石が訪れたとされる旧岸本家近くの蔵ホールで開催している。



漱石マルシェ



地元の(有)日乃出醤油が醤油蔵を改装後、地域に開放した「蔵ホール」で、漱石にちなんだ商品や食品を販売して、人々が楽しく集える機会をつくっている。



漱石グルメ



漱石が好んだとされる食べ物にちなんだメニューを工夫し、漱石定食・卵かけご飯醤油などが誕生した。

地元高校生によるニャツメ・サンドや地元パン屋によるヒゲパンなど楽しい食品が次々に創り出されている。



漱石ミュージカル



漱石が金田に滞在した3泊4日の出来事を、ミュージカル女優・清水ゆきさんが脚本・演出をし、岡山市民を中心にキャスト構成して、2022年の漱石フォーラムでの初上演に向けて練習に励んでいる。



漱石ロード活性化会議の想い

西大寺と言えば観音院や五福通りなど西大寺駅周辺が賑わう。穀倉地帯で閑散とした金田地区に人が集い、賑わいを創出するために、漱石を活かした取組を創案しコミュニティの活性化に努めたい。当該地区から発展し、岡山市民全体の郷土愛の醸成に寄与することも目指している。文化性の高い取組で、コロナ禍にも負けず、歴史と伝統を大切にしたい郷土愛を育む取組を続けていく。